

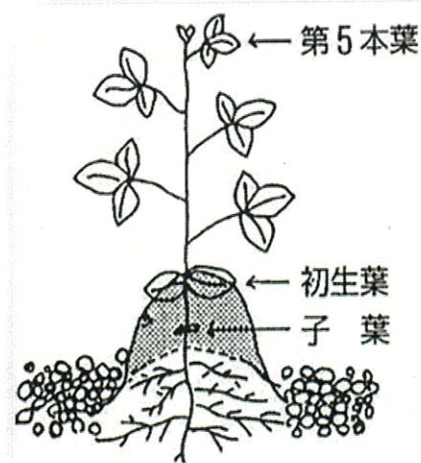
2回目の培土は適期に必ず実施！！

培土による生育量の確保と排水対策で収量・品質を高めましょう！

1. 2回目の培土と排水対策の徹底

～根元までしっかり土寄せをしましょう～

- 晴れ間をみて速やかに2回目（本葉4～5葉期、播種30～35日後）の培土を実施し、生育量を確保し雑草の発生を抑えましょう。
- 培土したところに新たな根が発生し、生育が促進され、倒伏防止にもつながります。
- 培土作業でできた溝と額縁排水溝は、必ず連結しましょう。
- 排水溝を点検・補修し、ほ場の停滞水を速やかに排水しましょう。
- 麦跡等の1回目培土（2～3葉期、播種20～25日後）も遅れずに行いましょう。



イヌホオズキ↓

2. 雑草防除

【難防除雑草の発生に注意】

大豆ほ場への侵入・蔓延を防ぐため、早期発見に努め、ほ場侵入初期の防除を徹底しましょう。

除草方法は各地区営農経済センターにご相談ください。

- 除草剤は、雑草の種類及び生育状況、大豆の生育状況から判断し、適期を逃さずに散布しましょう。
- 畦間・株間処理する場合は、「吊り下げノズル」等を使い薬剤が大豆に直接かからないようにしましょう。薬剤が付着すると葉が黄化する等の薬害が生じます。
(※抜き取った雑草を、そのままほ場畦畔などに放置すると再び根付いたり、種子が成熟したりするので、ほ場外で適切に処理しましょう。)



マルバルコウ↑

薬剤名	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
ポルトフロアブル	1年生イネ科雑草 (スズメカビラを除く)	薬量 200～300ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 または全面散布	イネ科雑草 3～10 葉期 ただし、収穫 30 日前まで	1 回
大豆バサグラン 液剤	1 年生雑草 (イネ科雑草を除く)	薬量 100～150ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 または全面散布	大豆 2 葉期～開花前まで (雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	1 回
		薬量 300～500ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 (畦間処理)	大豆の生育期(雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	
ロロックス	1 年生雑草	薬量 100～200g (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉兼 土壌散布 (畦間・株間処理)	本葉 3 葉期以降 雑草生育期(草丈 15cm 以下) ただし、収穫 30 日前まで	1 回
ザクサ液剤	1 年生雑草	薬量 300～500ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 (畦間・株間処理)	本葉 5 葉期以降 雑草生育期 ただし、収穫 28 日前まで	3 回

※ 詳しくは各地区営農経済センターにご相談ください。

☆とやま GAP (富山県適正農業規範) に基づき、安全に作業しましょう。

☆「守ろう 農薬ラベル 確かめよう 周囲の状況」 富山県農薬危害防止運動実施中 (4/13～9/14)

☆熱中症対策もしっかり行いましょう。